

工大-12年ぶり優勝



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2010

インターネット
号外

購読のお問い合わせは
東奥日報社読者局



0120-46-5939

ヨム

コウドクサンキュー

光星を零封、5回目の甲子園



【光星学院-八工大-】3回裏、八工大-1死三塁、下畑の右前適時打で先制

第92回全国高校野球選手権青森大会は最終日の24日、青森市営球場で決勝戦を行い、八工大-が3-0で光星学院を破り、12年ぶり5回目の夏の甲子園切符を手にした。
決勝は八戸勢の対決となり注目を集めた。光星学院の7年ぶり5回目の甲子園出場はならなかった。
八工大-は三回、1死三塁から1番下畑が右前打を打ち、小笠原が生還して先制。五回には豊川の単打と敵失などで1死二、三塁の

▽決勝	
光星	00000000
八工大-	00102000
	00000000
	30

(光)大浴、秋田-山下
(八)中山-小笠原
▽暴投||大浴(光)

絶好機をつくると、1番下畑がピッチャー強襲の内野安打を打ち、さらに相手側の悪送球の間に走者2人がかえって、3-0と突き放した。
八工大-の先発中山は、切れのある球と丁寧な投球で、強力な光星学院打線を無得点に抑えた。
光星学院は、主戦大浴から六回に秋田へつないだが、味方打線の援護を得られず、涙をのんだ。

詳細は朝刊で